



地区幹事
石居 正雄
(佐野RC)



地区会計長
小野 章
(佐野RC)

2003～2004年度国際ロータリー会長 ジョナサン B. マジリアベ氏は、私たちが奉仕の道に導くために全ロータリアンに「手を貸そう」と呼びかけています。国際ロータリー第2550地区ガバナー佐野正行さんは、国際協議会に於いてのRI会長の単純ではありますがしかしロータリー奉仕の真髄を雄弁に語るテーマであると確信し研鑽をつんで参りました。

佐野ガバナーは折に触れ、「手を貸そう」すなわち手を組んで「和」を尊び、ロータリアン同士でそれを大いに広げようと提唱されました。各クラブの会員同士はもちろんの事、職場や地域社会の方々に手を差し伸べよう その趣旨に沿ってガバナー補佐の方々や各委員会の皆様方でその内容を把握し活躍をご期待申し上げますとともに、私も地区幹事としてその職責を十分に理解し努力を重ねて参りたいと存じます。今後とも御厚誼の程お願い申し上げます。

2003～2004年度国際ロータリーが始動しました。佐野ガバナーのもと、地区会計長を申し受けました。近年年毎にロータリー会員の減少が続いております。このことは当然資金面の減少につながり、限られた予算となってまいります。しかし佐野ガバナーは本年度のテーマ「手を貸そう」に向かって、力強く邁進しようと呼びかけております。

限られた予算で、素晴らしい年度になります様に努力して行きたいと存じております。

皆様のあたたかいご協力をお願い申し上げます。



月信について

月信編集委員長
椎名 竹一
(佐野RC)

「誰だ、この編集をしている奴は」と言われてみたい、良いにつけ、悪いにつけ。そりゃ、最初は不安と期待が入り交じっていましたが、いわゆる迷っていうものではないでしょうか？。

でもね、ああでもない、こうでもない月信づくりをしている中に、楽しくなってきましたね。

一番悩んだのが冊子とウェブサイトへの原稿の割り振りでしたかね。

特にご執筆を頂いた方々のことでした。

お忙しい中を割いて、原稿を送って下さったのですから、大切にしなければいけないでしょう。

お顔が浮かんできましたよ。

そこで、ガバナー・地区幹事・編集委員のみなさんと、とことん話し合った結果、経費削減と高効率を求める意味で、次のように決めさせて頂いた訳です。

Webには、ご執筆者・ご投稿・任意・義務・その他すべてを全文掲載して、その中から主要なもの義務などをピックアップして、冊子に掲載することにしました。

理由は単純明解、冊子は表紙を含め8ページしかないからです。

説明の詳細は、Webに掲載されておりますので、是非お目通しをお願いいたします。